

日々の田高（電気通信大学高大連携基礎プログラミング）

11月16日（日）、本校生徒3名が電気通信大学による「大学授業科目先取り学修」の一環として行われている「高大連携基礎プログラミング」の第4回スクーリングに参加しました。

スクーリングではRuby言語を用いて制作した画像作品の発表会が行われました。テーマは「あなたが美しいと思う絵を生成するプログラムを作成する」でした。発表のために生徒たちは長時間かけて準備してきました。

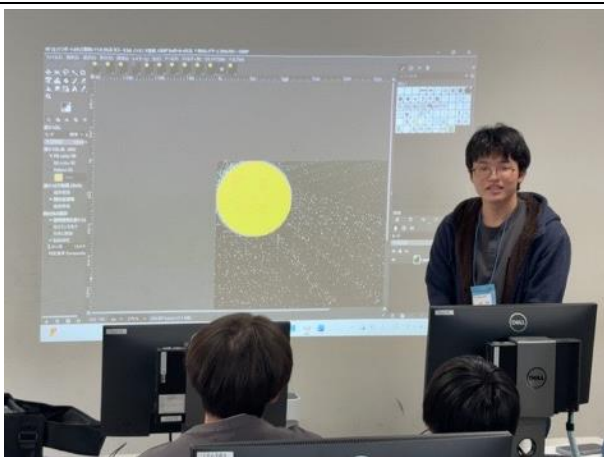
実際に発表会を終えた生徒たちのコメントを紹介します。

「私は、2人でお月見を作成しました。この絵を作る中で星の配置を特に頑張りました。穴が開いてしまうため同じ色の星を重ねてみたり、関数をとにかく打ち込んで生成してみたりしました。はじめての体験が多く難しくて混乱することもありましたが何とか終わることができて良かったです！！」

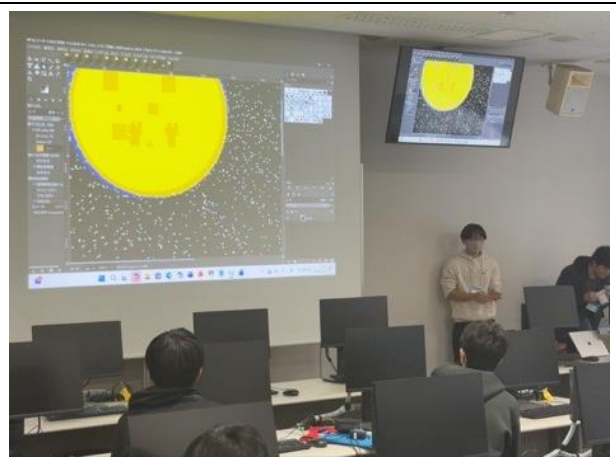
「私は、2人でお月見を作成しました。私がお月見を作成するにあたり一番学んだことはとにかく思いついたことをやってみるということであり、そこから自分の固定概念にとらわれないことが大切だと思いました。先生たちに助けてもらいながらなんとか課題をこなすことができました。」

「私は、砂漠の風景画を作成しました。この絵を作成する際は演習解説の図形を生成するメソッドの仕組みを理解し、それを活用することを頑張りました。あとはそれらの図形を自分の想像力で組み合わせただけなので、それほど難しくはありませんでした。今後は残っている課題や演習をクリアし、プログラミングの力をもっと伸ばしていきたいです。」

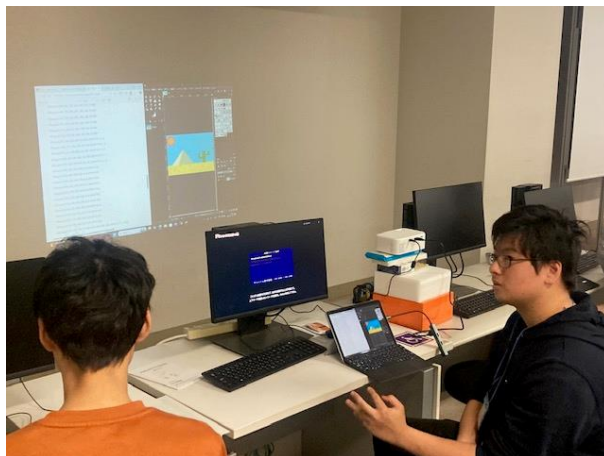
次回はC言語を使用した動画作成の発表会に参加します。まだまだ大変な期間が続きますが、最後までやり切り、大きな成長につなげてもらいたいと思っています。



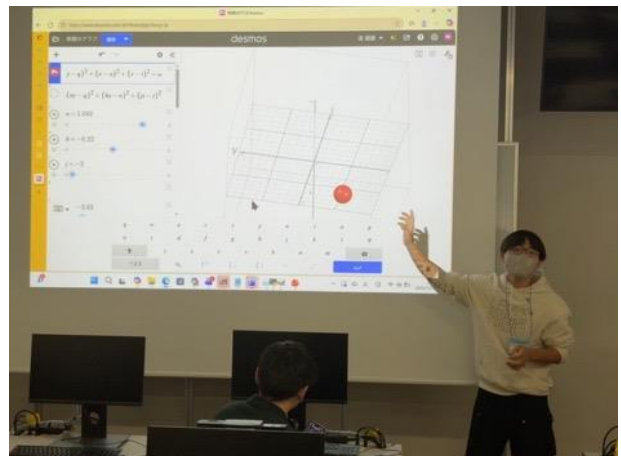
グループ発表の様子①



グループ発表の様子②



グループ発表の様子③



代表者発表の様子